



「LGBTQ」という言葉が無くなる世の中をめざして

8月25日（金）、LGBTQ+当事者の大久保曉さんと、パートナーの希望（のぞみ）さんをお招きし、二人のお話と、参加者の皆さんとの意見交換会を行いました。

大久保さんには、今年の3月にもお越しいただきましたが、参加者の皆さんからの反響が大きく、ぜひ今年度も開催しようと考えていました。

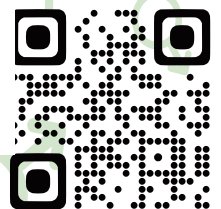
タイミングよく、「広報いけだ」7月号で特集を組めることになり、大久保さんに協力いただきながら記事を作成しました。そしてこれを読んだ方に、ぜひ気軽に足を運んでいただけたらと、今回の事業も実施することにしました。広報誌には、LGBTQ+について、また大久保さんのこれまでの歩みについて記載されているので、ぜひ市のホームページからご覧ください。



理解と共感の輪

前半は、パートナーの希望さんとの出会いから結婚、双方のご両親とのエピソードなどを聞きました。お2人の優しさが、周りの人を巻き込み、理解と共感の輪が広がっていると感じさせられるお話でした。後半は参加者との意見交換会を行いました。参加者からは、あくまでも自然体なお2人への共感や、性転換手術や戸籍の変更など、LGBTQ+にまつわるさまざまな疑問が寄せられました。

12月には出産を控えておられる希望さん。今回はぜひ家族3人でお招きしたいです。



それぞれの個性を生かし、
誰もが自分らしく輝ける
社会を目指して。

事業報告

6/9・16 おしゃべりカフェ FRI 書道体験



にはんごカフェ学習者の皆さんが、書道を体験。講師はTBYボランティアでインドネシア語が堪能な野本さんです。皆さん真剣に、丁寧に取り組んでおられました。

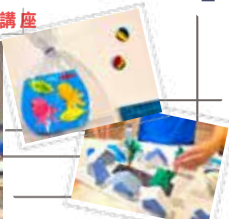


6/10 SAT ホゼアさんと 英語で親子フッキング 親子英語教室



レシピから作り方の説明までを、極力英語オンリーで行った親子クッキングには、それぞれ約10組の親子が参加してくれました。ホゼアさんの英語の指示に一生懸命耳を傾けながら、キャロットパンケーキやピーチコブラブディングなどの本格的なアメリカンスイーツを作り上げました。

7/26 WED Hosea English 「Summer Program for Kids」 子ども英語教室 4回講座



夏休みのプログラムとして、小学1・2年生の子どもたちがホゼアさんと一緒に英語の時間を過ごしました。今回は動物の名前あてクイズや、自分をスーパーヒーローに見立て、それぞれの特性を英語でどう言うか教えてもらったり、家の周りの景観を思い出しながら、自分のまちを工作で作って単語を覚えたりと、内容の濃い4回コースのレッスンでした。はじめは緊張していた子どもたちも、ホゼアさんの気さくな人柄に、緊張も解け元気いっぱいな様子をみせてくれました。

8/19 SAT ホゼアさんと英語で フルコースフッキング 大人英語教室

今回は初の試みとして、大人のみを対象にホゼアさんにアメリカ料理のフルコースを教えてもらいました。メニューはパッファローチキンやコールスロー、ジャガイモのニョッキ、チョコレートタルトなど、どれも本場仕込みのレシピぞろい。日本ではまだ馴染のないスパイスや調味料の紹介なども交えながら、アメリカの家庭料理を味わっていました。



IDC カフェ

何かを始めてみたいあなたへ
私らしい「起業」について考えてみる

7/6
THU



13名の方が参加されました。明るくユーモアも交えた佐々木先生のリードで、終始和やかな雰囲気でした。自身について見つめ直し、動き出すためのきっかけになった方もおられたようです。

小学生の皆さん！夏休みはダイバーシティセンターへ！

7/29
SAT

夏休みの自由研究に！
「家族で家事を楽しもう！」



小学校低学年を対象に、4家庭が参加されました。「自分のうちの家事」はだれが担っているのかについて話し合い、自分ができるお手伝いは何か、一人ひとりが考えてくれました。

8/5
SAT

夏休みの自由研究に！
「作ってみよう！どきどきブザー迷路」



小学校高学年の子どもと父親を対象に実施しました。ドライバーを使ったり、回路を作成したり、少し高度な内容でしたが、真剣に取り組み、素敵な「どきどきブザー迷路」が完成しました！



池田に暮らす外国人へのインタビュー

INTERVIEW

外国人へのインタビュー



●自己紹介

グエン ヴァン ミン。ベトナム北部のフンイエンという町の出身です。ベトナムの首都ハノイから、南に60キロほど離れています。



●お仕事は何をしていますか？

技能実習生として来日し、介護施設で働く外国人の通訳を含めたサポートをしています。日常生活から、仕事のことで、全般をサポートしています。現在介護施設では、ベトナム人だけではなく、ミャンマーからの実習生が多くなっています。また、弟が、ベトナムへ進出する日本企業を支援する会社を経営しています。弟の仕事を手伝うことも多いので、ベトナム出張へ行くこともあります。さらに、都合が合う時は、北摂で医療通訳ボランティアをしています。



●日本での生活で、不思議に思うことはありますか？

日本人がボランティアで活動していることを、最初は全く理解できませんでした。お金をもらえないのに、自分の時間と労力を使うことに、なぜだろうと思っていました。現在、医療通訳のボランティアに参加していますが、そこに参加している方の熱意や信念を感じ、お金だけではない、「気持ち」を理解できるようになりました。これは、ベトナム人が理解するのはとても難しい概念だと思います。



●ミンさんが12年間を振り返って、改めて思うことはどんなことですか？

私は、日本人の働き方や、仕事に対する考え方が好きです。ベトナムでは、生まれた環境や、親との関係など、自分ではどうにもできない状況に苦しむことがあります。日本では、自分が頑張ると、会社がきちんと評価をしてくれて、チャンスがたくさんあるように感じます。言語の面で、不自由は感じますが、不公平を感じることはありません。だまされたりすることはありません。信頼関係ができれば、気持ちよく仕事ができます。今、ベトナムへ進出する日本企業のサポートの仕事もしていますが、日本側の人たちがだまされたり、嫌な思いをしないで、うまく関係を築けるようにサポートするのが、

私の仕事だと思っています。また、日本人は、「周りの人に迷惑をかけない」という気持ちを大切にしています。これは、法律や決まりをきちんと守るという日本の文化です。でも、日本に来て間もない外国人にとって、最初は、冷たいと感じることもあると思います。長年の日本生活を経て、どちら側の気持ちも理解できるようになりました。



ミンさん家族



●日本で暮らすことになったきっかけは何ですか？

日本語を話せるようになりたいという思いで、日本への留学を決めました。1年ほどで、日本語能力検定試験N2を取得しました。その後、アルバイトとして、2年間、現在の会社で働き、その後正社員として採用されました。現在までアルバイトを含めて12年間働いています。



●仕事をしている中で、嬉しいこと、また失敗や苦労はありますか？

外国人にとって、日本人側の意図が理解できない場合があり、お互いに誤解が生じることがあります。以前、給料のことで、介護施設で働くベトナム人と会社の間でトラブルになりました。私は、長く日本で働いているので、日本人の考え方や働き方を理解できます。話し合いに同席し、無事に問題を解決することができたときは、とても嬉しかったです。また、日本語が話せないベトナム人が病院へ行くときに同行し通訳をしています。異国での病院はとても不安が大きいです。また、日本語が話せないと受診を断られてしまう病院もあるようです。「通訳がいることで安心して病院に行ける、ありがとう」と言われるのは、とても嬉しいです。逆に、日本人とのコミュニケーションがうまくいかず、仕事を辞めてしまったり、信頼関係が築けなかったような場合は、とても悲しい気持ちになります。



●これからの夢はなんですか？

日本との懸け橋になりたいと思っています。技能実習として日本での仕事を終えて、ベトナムへ帰国後、その技術を生かして仕事ができる人がまだ少ないのが現状です。とてももったいないことだと思います。国へ帰った後も、その技術を生かして仕事ができるような環境を整えられたらと思います。もちろん簡単なことではありませんが…。また、将来のことはまだわかりませんが、日本とベトナムを行き来できるようなライフスタイルが理想です。



●インタビューを終えて

ベトナム人としてのアイデンティティを持ち、今は、日本人の考え方を理解できるようになった、とお話される姿にとても感心しました。来日当初は、母国を離れ、違う文化や考え方を受け入れることは容易ではなかったはずです。ベトナム人と日本人、どちらの考え方も“わか・る”自分だからこそ、できることがあると話されました。これからも多くの在日ベトナム人たちの支えとなり、ご活躍されることを願っております。

多文化共生事業

9月
22金

Cooking class
ベトナム料理教室



定員
8名

ベトナムの揚げ春巻き作り、
生活・文化の紹介など

|時| 午前10時から午後1時
|場| 「多目的スペース」
|費| 1,000円
|講| グエン ティフン
|申| 電話または直接窓口

10月
12月
土

12回コース

はたらくためのほんご

10 2023	11 2023	12 2023
Sat	Sat	Sat
7	4	9
14	11	16
21	—	23
23	—	—

プロの講師による

日本語学習

|時| 午前10時から11時30分
|場| 「多目的スペース」
|費| 2,000円 [テキスト代込み]
|対| JLPT N3~N4レベル
|申| メール (名前・電話番号記入)
|定| 12名 (先着順)

男女共同参画事業

10月
19木

防災・減災について考える

～東日本大震災で見た課題とは～

参加無料

防災・減災について考える
～東日本大震災で見た課題とは～

東日本大震災の経験から、避難所運営や地域防災においては、男女共同参画や要配慮者への視点が必要であるとされています。地域に暮らす市民として、どのような心構えや体制づくりが必要なのでしょう。災害は、いつ起こるか分からないため、日ごろからの備えが必要です。今回の講座を機に、防災や減災について、考えてみませんか？

日時：2023年10月19日(木曜日)
午後2時～4時

場所：池田市ダイバーシティセンター

対象：市民、自主防災組織の方

定員：30人

【お申込み・お問合先】
9月1日(金)から電話または直接窓口で
池田市ダイバーシティセンター
池田市石橋1-23-6 ツナガリエ石橋5階
072-768-8034

※自主防災組織の方は登録管理簿へ
(072-754-6243) お申込みください。

講師：丹羽裕子(男女共同参画センター横浜相談センター長、元東
武行政策調査官)

三浦市男女共同参画センターで相談事業を担ったため、2011年から協議会
女性相談支援員に就任。内閣府「被災地における女性の悩み・協力関係事業」の
協議会運営委員を務めた。その後、復興庁、国土交通省防災部を経て、2023年より
復興。東日本大震災後の被災地支援活動については、『被災地の力 男女共同参画
社会と被災の社会』(片渕、明石書店、2016)に詳しく書かれている。埼玉県
議会議員。男女共同参画と災害復興・ネットワーク運営委員。



今後の予定

申し込みについては、事業によって異なります。
詳細はお問い合わせください。

11月
18土

ダイバーシティをチカラに

ツナガリエ石橋まつり

ツナガリエ石橋のおまつりです。
小さな子どもから大人まで、
だれでもきてください。

| Diversity center EVENT |

□ IDC CAFE

お国自慢のフードを販売します。

□ STAGE EVENT

インド舞踊、ゴスペルのミニコンサート

□ 展示

外国人市民が撮影した日本の写真コンテスト

「LTBTQ+」男女共同参画に関するパネル展示

ツナガリエ石橋 2023 午前 10 時～
午後 4 時

11月
11土

カフェ

パパ Cafe

パパ カフェ
Papa Cafe

2023年11月11日(土) 午後2時～3時

育児のこと、家庭のこと、仕事の
ことなど。今、考えていることに
ついて一緒に話をしませんか？
飲み物をご持参ください(お酒は準
備しています)。

場所 池田市ダイバーシティセンター

内容 ファシリテーターとして荒木正太さん(NPO法人ファザーリ
ングジャパン会員。池田市在住・4児の父)をお招きし、皆さん
でお話します。子ども連れの方も参加できます。

対象 もうすぐ父親になる方、育児中の男性 定員 5名

申し込み 10月2日(月)から(名前、電話番号、育児中の方は
子どもの年齢を明記して)Eメール、または電話で

池田市ダイバーシティセンター

池田市石橋1-23-6 ツナガリエ石橋5階

idc@city.ikeda.osaka.jp

072-768-8034

池田市ダイバーシティセンター
Ikeda Diversity Center
大阪府池田市石橋1丁目23番6号ツナガリエ石橋5階
072-735-7588 072-735-7589 idc@city.ikeda.osaka.jp

[Facebook] facebook.com/ikedadiversitycenter

池田市ダイバーシティセンターニュースプログラムは
年4回6月、9月、12月、3月に発行します。



FACEBOOK

IDCの事業ご案内

女性相談、外国人相談、日本語教室、子ども日本語教室のほか、様々なセミナーやイベント、出前講座を実施しています。
詳しくは市のホームページや広報誌、ダイバーシティセンターフェイスブックをご覧ください。